



## ～冬鳥の観察に来ませんか～

いよいよ師走です。学校では、年末に向けて忙しいことと思います。センターでも年末を控え、冬の野鳥観察会や七草の寄せ植えの講座準備をしています。

センター周りの自然も冬の準備が進んでいます。落葉樹の多くは紅葉を終え、葉を落としています。アシ原も一面銀色から茶色へと変化しました。昆虫は姿を消し、ザリガニも巣の中にもぐっています。その代わりに、冬鳥たちが渡来してきました。マガモやコガモ、オナガガモ、カンムリカイツブリなどの冬鳥が湖面を優雅に泳ぐ姿が見られます。冬の彩湖には、多くの種類の水鳥がやって来ます。潜水しながら魚を採る様子や羽を大きく広げて飛ぶ様子など、見ていても飽きない鳥たちを観察してみませんか。これからますます寒くなりますが、バードウォッチングは冬がおすすめです。(T)



カンムリカイツブリ



センター裏話

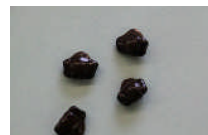
彩湖自然学習センターでは、小学生の自然体験活動でザリガニ釣り体験を行っています。このザリガニたちが10月を過ぎたころからぱったり釣れなくなってしまいました。「ザリガニがいなくなったのかな～」と池の中を覗いてみると小さな穴があちこちにたくさん空いています。この穴の長さは1mくらいもあります。試しにたこ糸につけたスルメを穴のそばに垂らすと、ザリガニが匂いにつられて顔を出しますが、穴からは絶対に出ないで手の届く範囲でだけ食べます。夏の活発に動いているザリガニと違い、穴の中からちらっと頭やハサミだけ見えるザリガニというのも、季節が感じられて面白いものだとは思いませんか？センター学習に来てくれた子どもたちは大変残念そうですが。(R) (注・・・彩湖自然学習センターでは学校の授業でのみザリガニ釣りをさせています。アメリカザリガニは外来生物なので釣れても基本的には持ち帰りは禁止です。)

# 季節の生き物

## カラスウリ(ウリ科)



晩秋から初冬になると、まっ赤なカラスウリの実がセンターザリガニ池南側のクズのやぶの間からのぞいています。カキの実のような球形の実やスイカのような緑色の縞模様の実まで、カラスウリの実の色の変化が見られます。和名は晩秋に赤い実が残るのを、カラスが残したのだろうと見立てたところから名付けられたようです。種子は黒色で平たく大黒天の顔を思わせるので、縁起をかついで財布に入れる風習があるとか。また、上下反対にするとカマキリの顔にも見えますよね。(W)



## お知らせ (12月後半・1月前半の講座)

12/12(土) **親子ふれあい教室** ※雨天実施

「木の実を使ったリースづくり」 対象:親子(小学生以上)※1組2名まで1家族1個限定  
身近で集められる木の実などの材料をたっぷり使って、クリスマスリースを作ります。

○時間:10:00~12:00

○持ち物:園芸用はさみ(あれば)、軍手、作品(直径30cm程度)を持ち帰る袋

○参加費:1組800円(材料費)



12/13(日) **野鳥観察会** ※雨天実施

「彩湖周辺の野鳥・真冬」 対象:一般・親子 20名程度

寒さの厳しいこの時期は、実は野鳥観察に最適の時期でもあります。初心者の方も気軽に参加して下さい。

○時間:10:00~12:00

○持ち物:双眼鏡など観察道具(貸出可)

○参加費:100円(保険代)



12/20(日) **自然観察会** ※雨天実施

「春の七草寄せ植え」 対象:一般・小中学生 25名 ※25鉢限定

七草の苗をプランターに寄せ植えします。大切に育てて、1月7日の七草がゆの材料に使ってみて下さい。

○時間:10:00~12:00

○持ち物:鉢を持ち帰る袋(大きめで丈夫なもの)

○参加費:300円(材料費など)



1/6(水) **自然観察会** ※雨天実施

「春の七草がゆ」 対象:一般・親子 40名

春の七草を観察したり摘み取ったりした後に、みんなで七草がゆを食べます。

○時間:10:00~12:00

○持ち物:摘んだ草を入れる袋

○参加費:300円



★申込方法:彩湖自然学習センターへ電話申込みか直接ご来館ください。(3階事務室)  
なお、申込みは、講座の1か月前から受け付けています。

多数の参加をお待ちしています!!